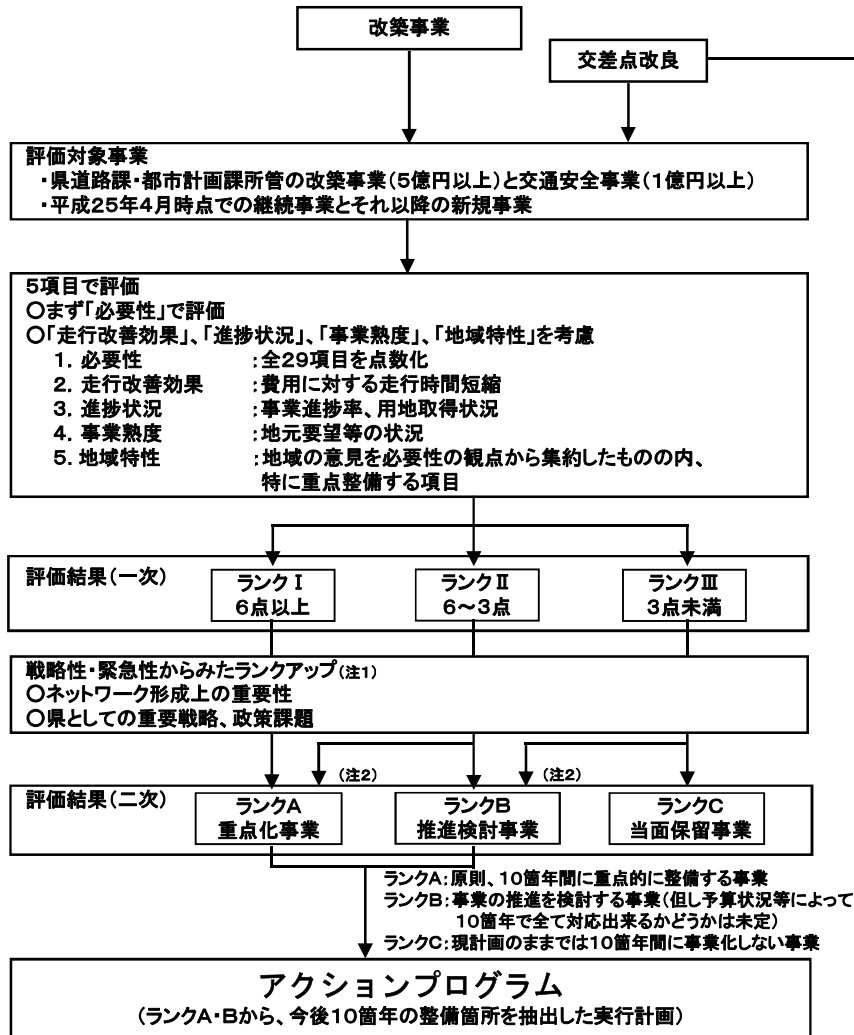


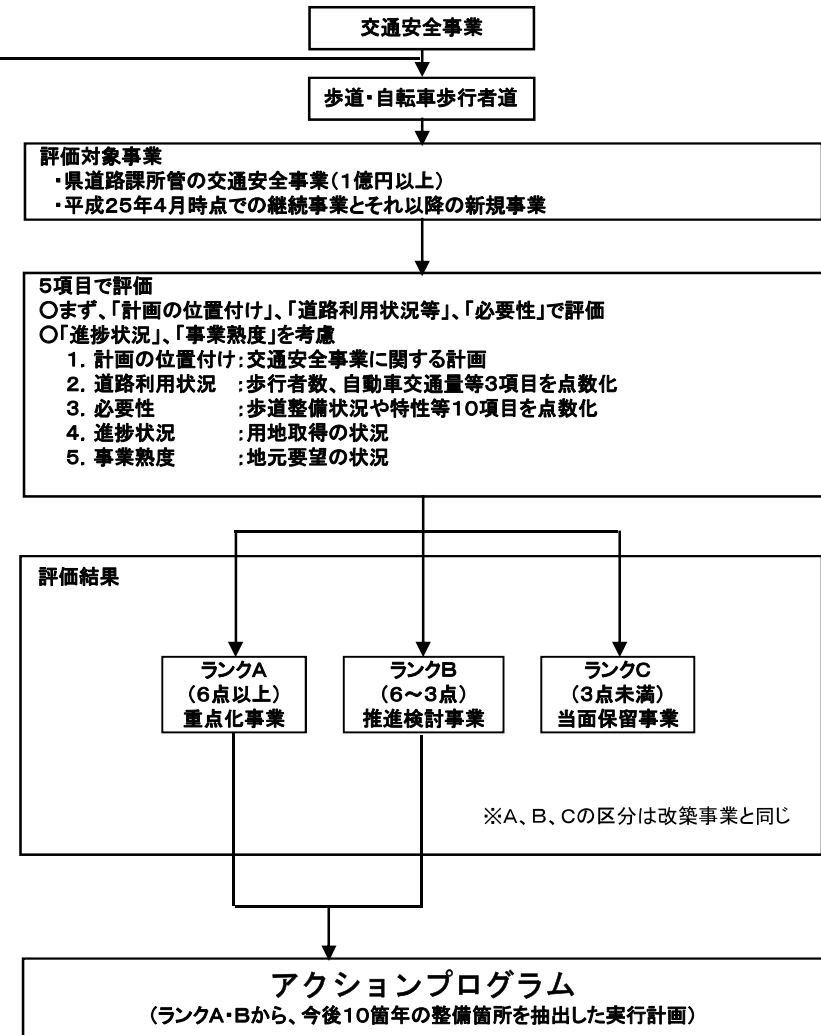
# 客観的評価マニュアル（H23）

## ■改築事業



(注1) 2つのいずれかの条件に該当する場合は、B→A、C→Bにランクアップする  
(注2) ランクアップしたものについては、十分な説明を義務づける

## ■交通安全事業



改築事業(交差点改良含む)評価基準

評価項目	目的地の施設、対象とする計画等	該当事業 (ヒット)の判断	配点	点数配分
<b>I 必要性</b>				
1 上位計画や地域振興計画の位置付け			55	2.000
①市町村合併支援道路整備計画の位置付け	市町村合併支援道路整備計画	計画箇所	15	0.545
②地域振興の計画に位置付け	地方拠点都市地域整備計画、山村振興計画、過疎地域自立促進計画、都市再生プロジェクト、定住自立圏、特定地域振興計画	計画箇所	10	0.364
③「渋滞対策プログラム」に位置付け	渋滞対策に関する計画に位置付けがある	計画箇所	20	0.727
④地域高規格道路の整備		計画箇所	5	0.182
⑤都市計画道路の整備		計画箇所	5	0.182
2 地域活性化の支援			50	2.500
①主要な公共公益施設等の周辺道路の整備	市町役場、県地方事務所、総合公園・運動公園、市(町)民会館等、大学、短大、汚物処理場、ごみ処理場、ごみ焼却場、火葬場(都市計画法等)、避難所	周辺1km以内	5	0.250
②I、Cや鉄道駅へのアクセス道路の整備	名神・新名神・北陸自動車道・湖西道路・京滋バイパスのIC、鉄道駅	周辺2km+国(県)道の交差点まで	5	0.250
③物流の効率化を支援する道路(25t対応(計画)路線)の整備	25t対応(計画)路線	25t対応路(計画)線	5	0.250
④大規模な商業施設の周辺道路の整備	大規模商業施設(延床3,000㎡以上)	周辺1km以内	5	0.250
⑤優れた自然環境、歴史的資源や観光資源等の周辺道路の整備(上記①と重複は除く。)	「標識の著名地点」但し、①と重複するものは除く。	周辺1km以内	5	0.250
⑥鉄道や道路との立体交差化を図る整備		項目に該当(個別事業で判断)	15	0.750
⑦交通不能の解消が図れる整備		項目に該当(個別事業で判断)	10	0.500
⑧大型車のすれ違い不能の解消が図れる整備(上記⑦該当は除く。)		但し、交通量センサスの区間別であり、個々に判断を要する。	5	0.250
⑨工区の起終点が共に改良済みの道路の整備		項目に該当(個別事業で判断)	5	0.250
3 よりよい生活環境の確保			100	2.500
①交通事故の発生率を低減できる整備	事故危険箇所	計画箇所	10	0.250
②高齢者や身体障害者等の移動の円滑化を図る歩道等の整備	バリアフリー新法における特定道路等の計画に基づく整備	計画箇所	20	0.500
③著しい渋滞を緩和できる整備(1-③以外のもの)	「混雑多発箇所」または、その選定基準に該当するもの(調査資料を確認のこと。)	項目に該当(個別事業で判断)	15	0.375
④通学路等の整備	通学路と中学校、高校の周辺	中学、高校は、周辺2km以内	15	0.375
⑤バス路線(町営バス、スクールバス等も含む。)の整備	バス路線図、スクールバス	項目に該当	10	0.250
⑥地域にとって唯一の道路の整備	分断されると孤立化集落の存在する道路	選出区間に該当	10	0.250
⑦救急病院や主な福祉施設等の周辺道路の整備	救急病院、福祉施設(市町保健センターを代表地点とする)	周辺2km以内	15	0.375
⑧無電柱化を推進する道路の整備	電線類地中化5ヶ年計画に位置づけがある区間	項目に該当(個別事業で判断)	5	0.125
4 信頼性・防災性の向上			60	2.500
①異常気象時の事前通行規制区間の改善が図れる整備		項目に該当	15	0.625
②雪寒地域内の第1種除雪路線の整備		項目に該当	10	0.417
③緊急輸送道路の整備		項目に該当	15	0.625
④防災総点検要対策箇所の改善が図れる整備		項目に該当	15	0.625
⑤連結許可を取得した追加ICへのアクセス道路の整備		項目に該当	5	0.208
5 他事業と併せた一体的整備			15	0.500
①高速道路や直轄国道整備に併せた整備		項目に該当(個別事業で判断)	15	0.500
②その他の公共事業に併せた整備		項目に該当(個別事業で判断)	10	0.333
<b>II 走行改善効果</b>	(走行時間短縮便益、走行費用減少便益、交通事故減少便益)		15	0.500
①費用対便益比の点数化	事業の全体事業費(C)と総便益(B)との比率(費用便益比(B/C))を10倍し中項目の配点(上限は右記の点数)とする。			0.500
<b>III 進捗状況</b>			15	2.000
①進捗率80%以上で用地取得が概ね完了	進捗率=H23年までの事業費/全体事業費	項目に該当	15	2.000
②進捗率80%以上、又は、用地取得が概ね完了		項目に該当	10	1.333
<b>IV 事業熟度</b>				0.500
①地元市町等からの要望	要望書、期成同盟会、地域の合意形成	有無		0.500
<b>V 地域特性</b>				2.000
①地域の重点項目(2項目以内)	地域の重点項目が1項目の場合は2点、2項目の場合は、各々1点とする。			1.000
				1.000
合計			310	15.000

交通安全事業 評価基準

分類	評価項目	内容	配点			係数	点数計	評点
			0	1	2			
<b>1</b>	<b>計画の位置付け</b>						8	0.690
	A 交通安全事業に関する計画	計画の有無	無	—	有	4	8	0.690
<b>2</b>	<b>道路利用状況等</b>						28	2.414
	B. 歩行者数 歩行者・自転車交通量	・歩道整備 ( )は通学路の場合 ・自転車歩行者道整備 人数 人数台	(40) 100人未満 150人台未満	(40~100) 100~150人未満 150~300人台未満	(100) 150人以上 300人台以上	6	12	1.034
	C. 自動車交通量	( )は通学路の場合 12h交通量	(500) 1,000台未満	(500~4,000) 1,000~4,000台未満	(4,000) 4,000台以上	6	12	1.034
	D. 車道部の幅員	5.5m以上	5.5m未満	—	5.5m以上	2	4	0.345
<b>3</b>	<b>必要性</b>						68	5.862
	E. 小学校等の通学路	通学路の指定区間	無	—	有	8	16	1.379
	F. 中学生・高校生の通学経路	周辺3km以内	無	—	有	6	12	1.034
	G. 人と車両との事故状況	計画区間における過去4年間の死傷事故率 (件/億台キロ)	0件/億台キロ	100件/億台キロ未満	100件/億台キロ以上	4	8	0.690
	H. 自転車と車両との事故状況	計画区間における過去4年間の死傷事故率 (件/億台キロ)	0件/億台キロ	100件/億台キロ未満	100件/億台キロ以上	4	8	0.690
	I. 歩道等の整備状況	未整備、片側狭歩道等の有無	片側整備済	片側1.5m以下	未整備	2	4	0.345
	J. 前後の歩道整備状況	整備の有無	無	一方有	両方有	2	4	0.345
	K. 近くに歩道などとして利用できる道路の有無	100m以内	有	—	無	2	4	0.345
	L. 病院・福祉施設の有無	周辺500m以内	無	—	有	2	4	0.345
	M. 鉄道駅・主要な公共施設・大規模商業施設の有無	周辺1km以内	無	—	有	2	4	0.345
	N. 観光資源などの有無	周辺1km以内	無	—	有	2	4	0.345
<b>4</b>	<b>進捗状況</b>						8	0.690
	O. 用地取得の状況	用地取得面積の進捗率	用地取得面積 50%未満	用地取得面積 50%以上~ 80%未満	用地取得面積 80%以上	4	8	0.690
<b>5</b>	<b>事業熟度</b>						4	0.345
	P. 地元などからの要望書の有無	有無	無	—	有	2	4	0.345
<b>評価結果</b>							116	10.000
<b>総合評価</b>								
<b>補助事業の採択基準の判定</b>								